

# 紹介します！ 水切り方法

一般ごみを出すときは、生ごみのひとしぼりに加えて、一晩干してください！！

平成 28 年度に三浦市から排出されたごみの総量は、15,849 t（一人1日当たり 972 g）で、このごみを処理するために、約 7 億円（1人当たり約 1 万 5 千円）の費用を要しています。

家庭から出るごみの約 5 割が「一般ごみ」で、その約 60%が「水分」です。この水分を減らすことで大きくごみを減らすことができます。

市では、水切りの大切さを市民一人ひとりに知ってもらい、各家庭で実践していただくため、このチラシを作成しました。

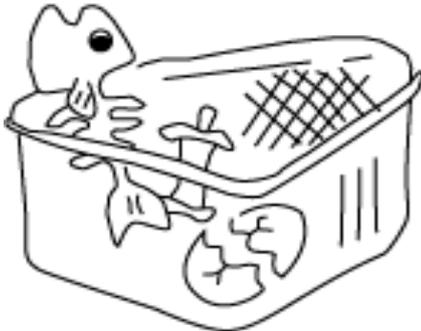
さらなる、ごみの減量を推進し循環型社会を築くために、市民の皆さんのご協力をお願いします。

## 《 上手な水切り方法 》

### 1 水気のないものは濡らさない！！

- 三角コーナーや排水口内の水切りかごには水気のないものは入れない。
- 余分な水分を吸わせないように工夫してください。

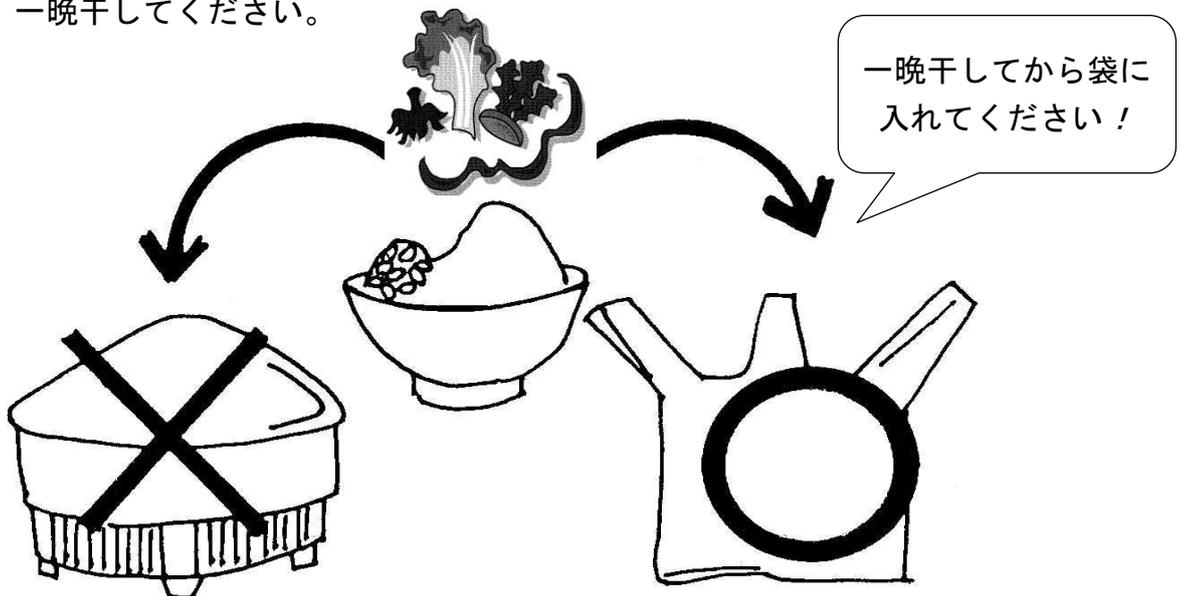
水気のあるもの



水気のないもの  
(一晩干してください!!)

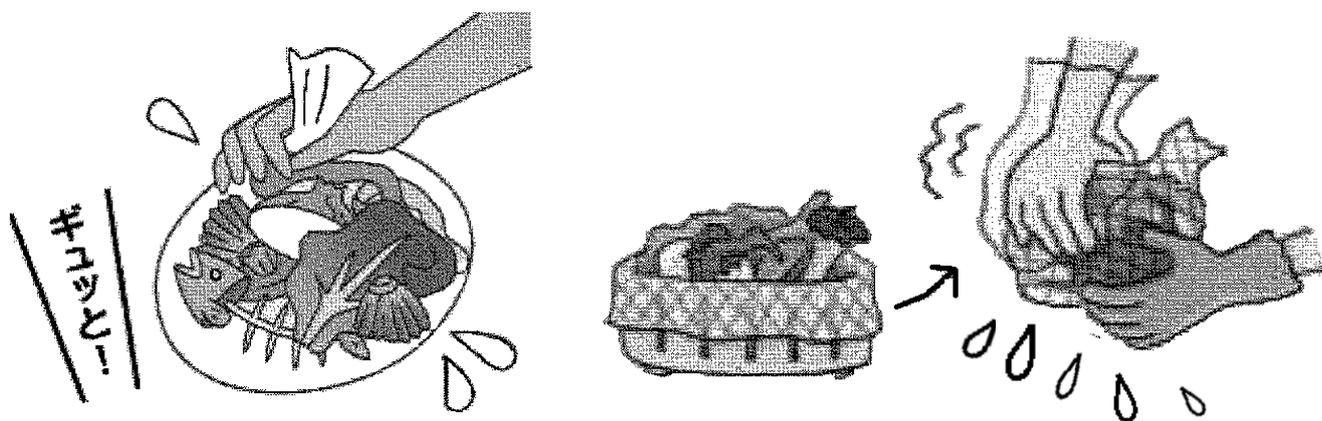


- 特にごはん・野菜の皮は、水を吸収して水切れが悪くなるので、三角コーナー等に入らずに、一晩干してください。

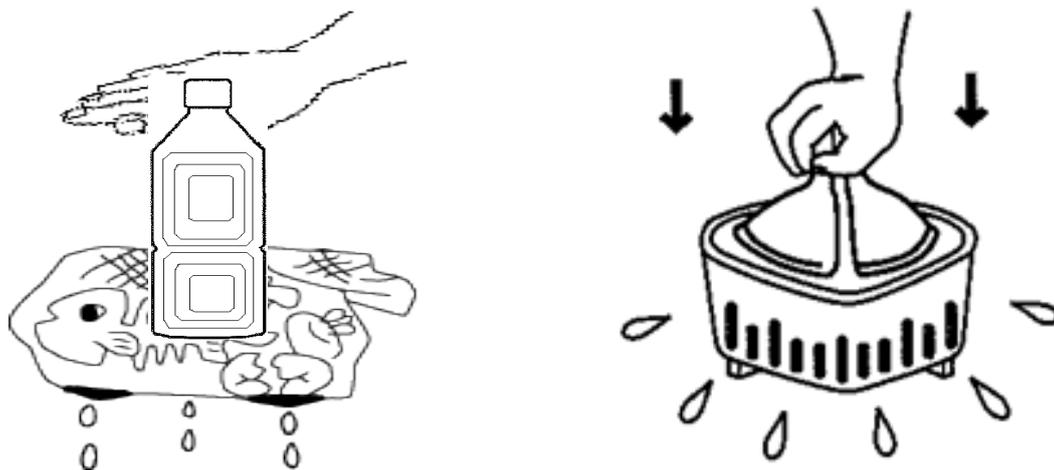


## 2 生ごみはギュッとしぼって！！

○ 手でギュッとしぼる。竹串や楊枝、魚の骨に注意してください！！

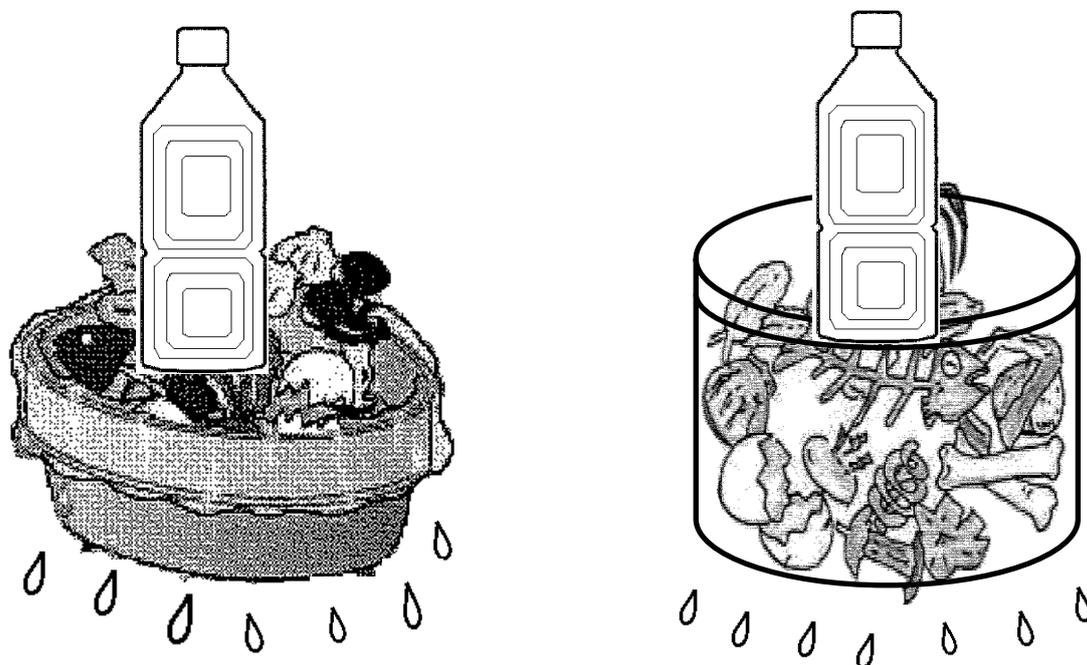


○ ペットボトルの底や水切りグッズを使用してしぼる。



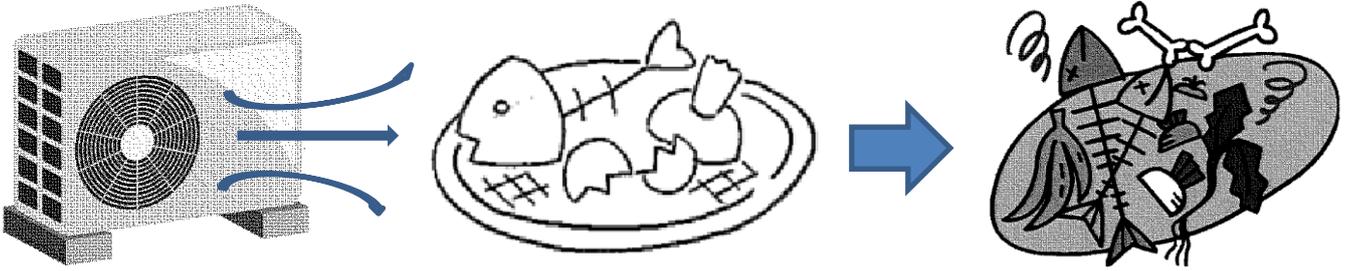
○ 三角コーナーや排水口内の水切りかごに入れた生ごみの上に重石をする。

○ ペットボトルに水道水を入れて、生ごみの上に一晚置くだけで効果があります。

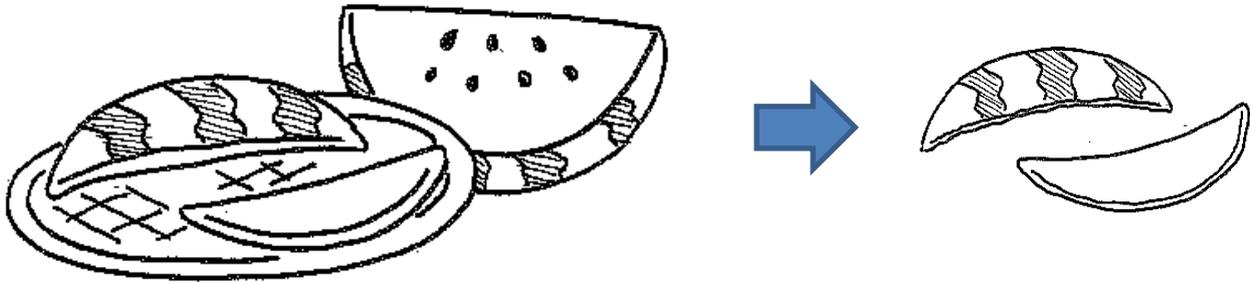


3 生ごみを一晩干して（乾かして）！！

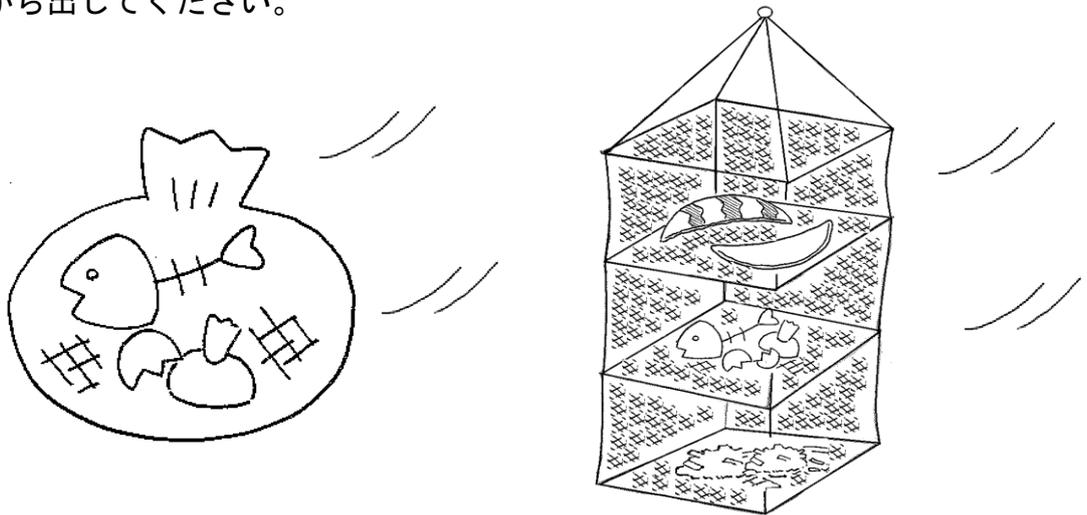
- しぼった生ごみは、食品トレイやザルに入れて、風通しの良い場所に置き、一晩干してから出してください。エアコンの室外機のそばに置くと効果的です。



- スイカなど水分の多いものは、一晩干していただくだけで水分が少なくなり効果的です。



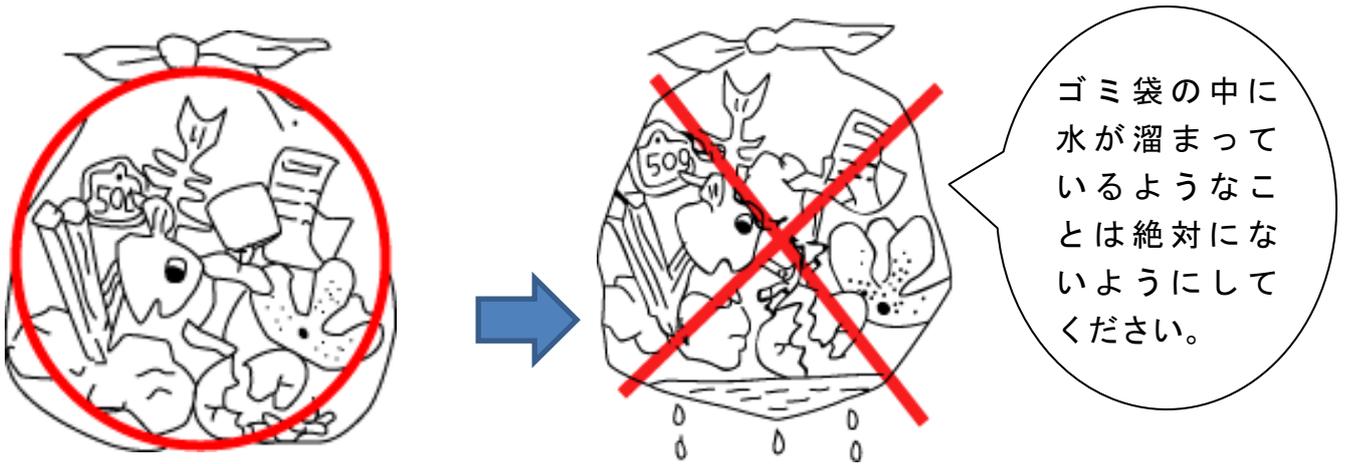
- 水切りネット、干しカゴや洗濯用ネットなどに入れて、風通しの良い場所に置き、一晩干してから出してください。



- お茶がらやティーバッグは、ギュッとしぼってから一晩干して出してください。

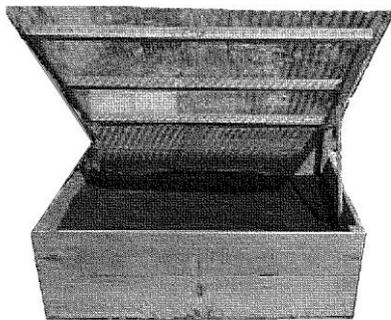


★ 水切り後の生ごみは、他の一般ごみ【ティッシュペーパー・汚れた紙、割箸、タバコの吸殻など】と合わせてひとつの袋を出す。

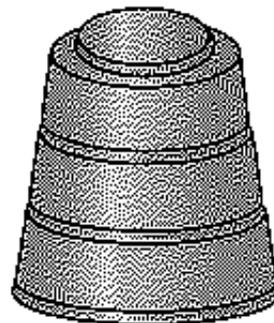


#### 4 生ごみ処理機を使用する！！

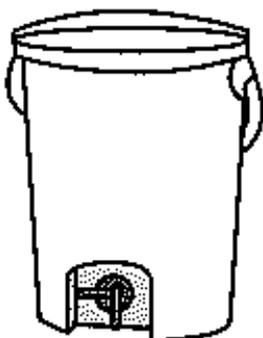
- 生ごみ処理機は、土の力で生ごみを分解する「キエーロ」及び「コンポスター」や、電気により生ごみを乾燥する「電気式生ごみ処理機」や、微生物の力で生ごみを分解する「EM処理容器」などがあります。
- 「キエーロ」「コンポスター」「EM処理容器」は土の力や微生物などの力で生ごみを分解するので、多少手間がかかります。また、骨や貝がら、種など分解しにくいものがあります。
- 生ごみを家庭で処理できるので、ごみ出しががラクになります。また、家庭菜園やガーデニングの肥料として再利用もできます。



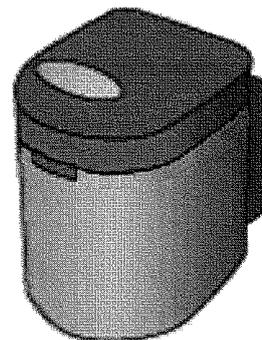
キエーロ



コンポスター



EM処理容器



電気式生ごみ処理機